

平成29年度

要望書第12号

栗東市農業政策に関する要請について

持参

今日の農業を取り巻く状況は、米をはじめとする農産品需要や価格の低迷、農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など諸問題に直面している中、TPP合意や30年産からの米政策の転換等、農業を取り巻く情勢が流動的であり、農業者は大きな不安を抱えて生産活動を続けています。

また、国の農業政策においては、平成27年11月に定められた「総合的なTPP関連政策大綱」において、担い手確保・経営強化支援をはじめ、中山間地域の所得向上支援や農林水産業の輸出力の強化など、成長産業としての力強い農林水産業をつくりあげるため万全の政策を講じるとされています。

このような状況の中、平成27年産米食味ランキングにおいて、滋賀県産「みずかがみ」「秋の詩」が「特A」評価を得るなど、農業者と行政、関係団体が一体となった農業の持続的発展、農業者の経営安定・所得向上に向けた取組みは進んでいるものと考えております。

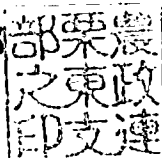
農業は、国の政策により大きく左右されることから、農業者が将来に希望を持ち、持続的かつ発展性のある農業経営のため、長期的な観点と実効性のある政策と支援が必要です。

つきましては、農業者が安心して農業を営むことができ、市民が「農」に携わることができる施策を進められるよう、必要な農業施策の実現を要請いたします。

平成28年11月25日

栗東市議会 議長 寺田 範雄 様

滋賀県農政連盟栗東支部
支部長 武村 秀夫



要請事項

(1) 米政策改革を見据えた対応について

国が、平成30年産を目途に生産数量目標の配分を廃止する際には、適切な情報提供など生産現場に混乱が生じないよう十分配慮するとともに、需給調整の機能が適切に働くような仕組みを早急に提示するよう働きかけて頂きたい。また、集落の調整機能の低下や、これまでの団地化、ブロックローテーションが崩れることのないよう対策を講じていただく要請いたします。

(2) 農産物のブランド化に向けた支援について

日本穀物検定協会の定める平成27年産食味ランキングにおいて、「みずかがみ」と「秋の詩」で「特A」を得たことは、生産者、行政、関係機関が連携して取り組んできた成果であり、大きな喜びとなりました。今後も「特A」評価継続に向けた品質向上対策等、近江米ブランドのさらなる確立に必要な施策を実施いただくことを要請致します。また、農業所得の向上と地域経済活性化に向け、付加価値の高い農産物や商品づくりなど、高品質な園芸作物を中心に、ブランド化に向けた支援を要請いたします。

(3) 園芸の産地づくりに向けた支援について

本市における園芸振興については、市内直売所や学校給食への食材提供などの地産地消の推進や、都市近郊の立地条件を活かした園芸産地の育成に向けて取組みを進められています。さらには、平成30年9月には、学校給食センターが新設されることも踏まえ、出荷者と関係機関が一体となった協議会等の体制整備や、園芸作物の産地化を視野に、収穫後一定期間、安定した品質の野菜を出荷することのできる保管施設等、出荷する取組みへの必要な支援と併せ要請いたします。

(4) 新規就農者の確保・育成について

農業従事者の高齢化等による担い手不足は、依然として深刻な状態が続いていることから、本市農業の持続的発展及び、安定した魅力ある農業経営を目指すためにも、農業を担う新規就農者や後継者などの意欲ある担い手の確保・育成とその支援体制の充実強化が必要です。

そのため、就農の入口から定着に至るまでの相談体制の整備、農地中間管理事業を活用した農地の斡旋や経営の安定化に至るまでの幅広い指導を行うなど、総合的な支援を実施するよう要請いたします。

(5) 計画的な農業生産基盤整備の実施

良好な営農環境を保持する上で必要不可欠な、農道・用排水路・ため池等の農業用施設の維持・整備について、農業振興地域内農業用地区域を優先した事業計画を策定し、国・県に対して必要な事業の実施を継続的に要請いたします。